

申請期限は接種日の年度末まで！
この機会に接種をご検討ください

たいじょうほうしん 帯状疱疹 予防接種

～ 接種をされた方の費用助成を始めます！ ～

帯状疱疹とは…？ 「どうまき」とも言われています。

50歳から発症率が高くなり、80歳までに約**3人**に**1人**が発症します。

日本の成人の約**9割**が帯状疱疹の原因となるウイルスを持っています。

(※詳細は裏面をご覧ください。)

対象者 接種日時点で印南町に住民票がある**50歳以上**の方で、
令和5年4月1日以降に対象のワクチン接種をされた方

必要書類 ① 医療機関の領収書（ワクチンの種類の記載が必要）
② 振込先口座がわかるもの（通帳、キャッシュカードなど）

接種したワクチンの種類によって助成額が異なります。

(以下のいずれかのワクチンしか接種できません。)

すいとう
◆水痘ワクチン「ビケン」※帯状疱疹予防効果あり

接種回数 1回

助成額 4,000円

◆帯状疱疹ワクチン「シングリックス」

接種回数 2回（1回目接種後、2か月空けて接種）

助成額 10,000円 × 2回



接種をご希望の方はかかりつけ医にご相談ください



ご存じですか？帯状疱疹について

Q なぜ、帯状疱疹になるの？



帯状疱疹は、体内の水痘・帯状疱疹ウイルスが活動を再開することで発症します。主に子どもの頃に、このウイルスにはじめて感染すると「水ぼうそう」として発症します。そして、水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内に潜っていますが、普段は免疫力によって抑えられています。

しかし、この**免疫力が疲労・加齢・ストレスなどによって低下すると、ウイルスが再び活動・増殖**し始めます。また、糖尿病やがんなどの免疫力が低下する病気が原因になることもあります。

Q 帯状疱疹にかかったらどうなるの？



ウイルスは神経の流れに沿って皮膚へ移動し、**帯状に痛みや発疹**が出ます。体の上半身や顔、目、頭などの体の一部にピリピリとした痛みが現れ、その部分に赤い発疹が出てきます。痛みは徐々に増していき、夜も眠れない程激しい場合もあります。

50歳以上に帯状疱疹を発症した人のうち、約2割は3か月以上痛みが続く帯状疱疹後神経痛になるといわれており、**重症化すると、視力低下や失明、顔面神経麻痺など、重い後遺症が残る可能性**があります。

Q 帯状疱疹にならないためにはどうしたら？



日頃から**体調管理**を心がけ、**免疫力が低下しないようにすることが大切**です。一度帯状疱疹になったことがある人や水ぼうそうにかかったことがない人でも発症する可能性があります。

あらかじめ**予防接種**を受けることでも十分な予防効果が得られますので、この機会にご検討ください。

予防接種を受けた方は「住民福祉課」へ申請を！

Q 印南町役場 住民福祉課（お問い合わせ先：0738-42-1738）